

# 建設委員会記録

[第2日目]

1 日 時 平成29年12月15日(金曜日)

開 会 午前 9時57分

閉 会 午前11時 4分

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員 9人

委員長 横野 昭

副委員長 尾上 一彦

委員 岡部 享

// 石森 正二

// 押田 大祐

// 金井 毅俊

// 松井 桂将

// 村家 博

// 五本 幸正

4 欠席委員 0人

## 5 説明のため出席した者

### 【上下水道局】

上下水道局長	浅地 暁夫
上下水道局次長	黒田 和幸
上下水道局次長（技術担当）	黒瀬 裕治
経営企画課長	石金 俊介
契約出納課長	中村 忠成
参事（流杉浄水場長）	中村 純一
料金課長	横井 浩伸
給排水サービス課長	五十嵐 進
水道課長	山崎 耕一
下水道課長	高尾 輝彦
上下水道施設管理センター所長	福澤 幸二
東上下水道サービスセンター所長	五十嵐 健治
西上下水道サービスセンター所長	深川 俊二
浜黒崎浄化センター場長	橋谷田 安広
経営企画課主幹（調整担当）	金井 誠

### 【建設部】

建設部長	帯刀 宏隆
建設技術統括監	植野 芳彦
建設部次長	中田 信夫
建設部次長（技術担当）	山元 政彦
参事（設備担当）	永川 武
建設政策課長	金山 英樹
道路河川整備課長	酒井 正道
道路河川管理課長	奥田 孝治
橋りょう保全対策室長	深山 隆
公園緑地課長	笹岡 寛
防災対策課長	前田 剛
市営住宅課長	中村 敏之
営繕課長	佐藤 英子
土木事務所長	高松 信太郎
土木事務所管理課長	増山 和弘
土木事務所建設課長	渡辺 政司
建設政策課主幹（調整担当）	高場 英人

## 6 職務のため出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	福原 武
議事調査課主任	金井 沙織
議事調査課主任	河原 絢加

## 7 会議の概要

委員長 予定の時間より若干早いですが、ただいまから、建設委員会を開きます。  
これより、上下水道局所管分の議案の審査を行います。  
議案第127号 平成29年度富山市水道事業会計補正予算（第3号）  
を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

上下水道局長 〔挨拶〕

上下水道局次長 〔議案説明資料により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、これをもって、議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第127号の討論に入ります。  
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。  
これより、議案第127号を採決いたします。  
本案件は、原案のとおり決することに御異議  
ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。  
よって本案件は、原案可決されました。  
以上で、上下水道局所管分の議案の審査を終  
了いたします。  
次に、  
契約金額1億5,000万円以上の工事請負  
契約について、  
配水幹線切替作業に伴う地域住民への周知に  
ついて、  
以上2件を一括して、順次、当局から報告を  
求めます。

契約出納課長 〔契約金額1億5,000万円以上の工事請  
負契約について、  
委員会資料により説明〕

水道課長 〔配水幹線切替作業に伴う地域住民への周知  
について、  
委員会資料により説明〕

委員長 ただいまの説明について、何か、質問はありませんか。

石森委員 配水管線の切替作業ですが、さきの6月の建設委員会で、私のほうから濁り水についてお聞きして、御回答いただきましたが、そういった全ての項目が、今回の周知の目的の中に入れておりました、善処していただいて本当にありがとうございます。やはり、飲み水のことですので、市民の皆さんに不安を与えないという意味ではこういう形でしっかりとやっていただくのはありがたいと思っていますが、中部幹線一たくさんの地区名が書いてあるのですが、工事区間といいますが、場所というのは何カ所あるのでしょうか。

水道課長 中部幹線につきましては、工事箇所といいますが、今回の場合は、断水をせずにバルブ操作だけになります。そのバルブにつきましては、アピアの前の稲荷元町のところにある1カ所だけで切りかえることになります。

石森委員 もし何カ所もあるということになると、当然工事が何カ所か同時に行われるということになるので、周知という面でお願ひしたいと思ったのです。もう一つお聞きしたいのは、概

ね12年後の耐震化率100%を目指すということで、もう取り組んでいるということは、何年から取り組まれているのか、また、今は何%くらいの進捗状況なのか、お聞かせください。

水道課長 平成25年度に耐震化計画ということで策定しまして、今新しい計画でいいますと第2次富山市上下水道事業中長期ビジョンで明示させていただいております。前年度末の配水管線の耐震化率でいいますと、40%程度になります。これを中長期ビジョンでの目標数値では、平成38年までに92%としております。それを今12年後といいますのは、それよりも先のほうで、2年後、3年後に100%にしたいという意味でございます。

石森委員 市民に配られますお願いの中の一番最後に連絡場所が書いてあるのですが、これは24時間の対応でしょうか。

水道課長 はい。職員がサイクルで24時間で電話を受けつけたいというふうに思っております。

石森委員 ありがとうございます。深夜の工事ということで、深夜はなるべく水道を使わないことに

なっておりますけれども、すぐ問題が発生するとは思ってはいないのですが、やはり時間帯によってはということもあると思ったので、24時間対応していただくと大変ありがたいと思います。よろしくお願いします。

五本委員 その時間帯のことはそれでわかったのだけれども、今言われると思ったら言われなかったものだから。水をどんどん出して、濁りが取れるまで水を出すと。当然メーターは回るわけですね。その料金メーターが回ったときに、どう処理していかれるのですか。メーターが回ったときの対応ですね。

上下水道局長 水を出してすぐに濁りが取れる場合はそれでよろしいのですが、例えば前回でもあったのですけれども、深夜に営業しておられるお店なんかはずっと出しっぱなしにして、要はお客様に水を出すために出しっぱなしにするという件もございました。一応、どのくらい、何時間くらい出されましたかというようなことをお伺いいたしまして、その水量を推計いたしまして、その分は減免とする扱いで対応したいと一前回はそのようにいたしました。

五本委員 トラブルにならないようによろしく願いし

ます。

松井委員 今の配水の話ですけれども、各幹線における対象世帯に御案内をされるということで、各幹線の世帯数、要は影響のあるところはどれくらいなのか。

水道課長 古沢幹線につきましては、約1,000世帯でございます。中部幹線につきましては、7万7,000世帯、赤江幹線につきましては、1万9,000世帯でございます。

松井委員 古沢は来年の1月14日で、配布を1月5日に行うということですが、この配布というのはどうやって配られるのですか。

水道課長 広報とやまと同じルートを使って配りたいというふうに考えております。

松井委員 よろしくお願ひします。  
あともう一つ、万が一問題が発生した場合の給水車なのですけれども、今現在、給水車はどのくらいあるのですか。

経営企画課長 給水車は上下水道局で3台保有しております。そのほかに給水タンクー給水車の上について

いるタンクでございますが、これがトラックに積めるものが全部で22個を局で所有しております。そのほかには各家庭にお配りする20リットルのポリタンクを約300個余りを所有しております。

松井委員 直近で稼働した例というのはあるのですか。

経営企画課長 直近ですと、前回の濁り水の時も対応いたしましたしー2台が出動いたしました。しばしば稼働しております。

松井委員 24時間対応で何かあればということなので、事故のないようにまたよろしくお願いしたいと思います。

上下水道局長 ちょっと補足をさせていただきますが、先ほど世帯数が多いところで7万7,000世帯というふうに申し上げたのですが、要は幹線で供給している範囲が全体でそれだけだという意味なのです。ですから、それがどこで濁るかというのは全くわからない話ですし、それから濁るかどうかもわからないというような状況で、どこでなるかもわからないということなものですから、こうしたものを全戸に配布いたしまして、もし濁った場合はすぐ

御連絡くださいということで、給水車等で対応したいというふうに考えているわけです。前回のときもそうだったのですが、前回の切りかえは中部幹線でしたが、とんでもない箇所です。それから水の流れが逆流して、西町方面のほうまでその濁りが出たと。全く水の流れとは別の経路で流れていったということもありまして、どの辺で出るかも全く予測がつかないということで、先ほど言いましたように給水車あるいは給水タンクで対応するというふうな待機をしているということでございます。

松井委員           ありがとうございます。実際、その濁りというのは、基本的には体に影響はないものなのですか。

上下水道局長       つなぎ込むときに、例えば今まで水道管内部にさびだとか、あるいはごみとか、そういう些細なものがいろいろあつたりするのですが、要はつなぎ合わせることによって、水道管の中で圧の変化が起きます。その圧変化によって、管の中についていたものが剥がれたりなんだから、それが流れていくというようなものだと思っております。実際、外部からおかしなものが入ってきたということで

はありませんので、これまで管の内部に付着していたものが剥がれていくというようなことだろうとは思っております。においなりというものは出るかもしれませんが、直接的に人体のほうに影響があるかということ、そういうことでもないと思います。ただし、何が入ってきたかはわかりませんので、検査体制は十分にやっておりますが、これまで検査をした結果、有害物質が発見されたというような事例はこれまではございませんでした。今回もし濁った場合はそういう検査も重ねて行います。

五本委員

そのとおりだと思うのですね。私も経験があるのですけれども、水道局に文句を言ったことがあります。配管の中の何かが剥がれてくるのですよね。私のところは飲食店をしているものだから、氷をつくったりすると、よくわかるのですね。怒鳴り込んだこともあったのだけれども、ただ、市民にはそこはわからないので、なるべく皆さん方に不安を与えないような供給のことをしっかり確認させていただきたいということで、要望しておきます。

押田委員

配水幹線の耐震化ということで、こういうビニル管に変えているということを聞いている

のですけれども、ということは、今現在、穴を掘って鉄管からビニル管に変えるという作業でよろしいのでしょうか。

水道課長 配水幹線につきましては、古い管ではありませんけれども、一応鑄鉄管のものが多いです。それを、今、耐震管というG×管と言っていますが、ダクティル鑄鉄管、強靱な耐震型の同じような鉄管になるわけですが、それに切りかえているということになります。

押田委員 ということは、掘って管を露出させて、一旦とめてあったものを外して、またつなぎ合わせてという作業でよろしいですか。

水道課長 そういう入れる場所がない場合には、幹線ですので、とめるわけにはいきませんから、仮設をして、通しながら、部分で切って新しいものをつけて、つなぎかえる。幹線の中にはルートをかえてつなげるところもありますので、違うルートにおいて部分でつなげるということもございます。

押田委員 先日ちょっとテレビで見た受売りで申しわけないのですけれども、今埋まっている既設管に既設管より細いゴム状といえればいいのか、

プラスチック状というのか、それを入れて熱湯で膨らませて、既設管に付着をさせると。膨らますという形でコスト削減とさび等の発生を防ぐという技術があるということなのですけれども、富山市での導入とかはどのようにでしょうか。

水道課長 水道管につきましても次年度に計画はしているのですけれども、入れるところがなくて、取りかえることができないという場所がありますので、そういうパイプ・イン・パイプという工法についても今後考えていきたいというふうに考えております。

押田委員 できるだけコスト削減に努めていただくことと、工期の短縮化、そして住民への影響のないように進めていただきたいと思います。

下水道課長 今ほど、管更生の話がありましたけれども、下水道のほうでは、今、老朽管対策ということで順次進めておりますけれども、そういった中では、もう既に今委員がおっしゃられた管更生という工法でやっております。おっしゃられるように開削をせずに中から管を補強できるということで、今後またそういう工法をどんどん進めていきたいというふうに考え

ております。

金井委員　　ことは大雪だという予想の天気予報がたくさん出ているのですが、この切りかえ予定日はそういうことにも全然影響がないということではないですか。

水道課長　　一応大雪であってもやっていきたいというふうに考えております。操作するバルブ等につきましては、事前に全部確認をしまして、当日の操作に影響のないように進めてまいりたいというふうに考えております。

委員長　　ほかにないようですので、この程度にとどめます。  
次に、上下水道局所管分で、議案及びいただいた報告以外に何か、質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長　　ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、上下水道局所管分を終了いたします。  
なお、建設委員会として現地視察を一上下水道局の分野で、松川雨水貯留施設の完成が見られるかどうかはわかりませんが、ある程度の説明の機会を求めたいと思います。また委

員の皆さんには案内しますが、上下水道局の皆さんとも相談して、また日程の調整を図りたいと思いますのでお願いします。

上下水道局の皆さんは、退室願います。

説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔上下水道局退室／建設部入室〕

委員長

これより、建設部所管分の議案の審査を行います。

議案第118号 平成29年度富山市一般会計補正予算（第5号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、建設部所管分、第11款災害復旧費中、建設部所管分、第2条繰越明許費中、第11款災害復旧費中、建設部所管分、第3条債務負担行為の補正中、建設部所管分、

議案第126号 平成29年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計補正予算（第1号）、

議案第135号 富山市営住宅条例の一部を改正する条例制定の件、

議案第136号 工事請負変更契約締結の件（八田橋（上流側）架替工事）、

議案第139号 線路及び工事方法書記載事項変更認可申請に係る道路管理者の意見に関

する件、  
議案第140号 財産取得の件（防災行政無線設備）、  
議案第141号 訴えの提起の件、  
以上7件を、一括議題といたします。  
順次、当局の説明を求めます。

建設部長 〔挨拶〕

建設部次長 〔議案第118号中  
建設部補正予算総括表について、  
人件費について、  
繰越明許費について、  
債務負担行為補正について、  
議案説明資料により説明〕

土木事務所 〔議案第118号中  
建設課長 道路維持管理費について、  
河川水路維持補修事業費について、  
道路橋りょう災害復旧事業費について、  
議案説明資料により説明〕

道路河川管理課長 〔議案第118号中  
道路維持補修事業費について、  
雪対策事業費について、  
サンライト事業費について、

街路樹管理費について、  
議案説明資料により説明]

公園緑地課長 [議案第118号中  
公園管理費について、  
議案説明資料により説明]

市営住宅課長 [議案第118号中  
住宅管理費について、  
議案第126号について、  
議案第135号について、  
議案第141号について、  
議案説明資料により説明]

道路河川管理課長 [議案第139号について、  
議案説明資料により説明]

橋りょう保全対策室長 [議案第136号について、  
議案書により説明]

防災対策課長 [議案第140号について、  
議案書により説明]

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。  
件数が大変多いので、質疑は簡潔・明瞭にお

願います。

押田委員 市営住宅管理費で中教院モルティのほうで負担金が98万5,000円というふうに議案説明資料18ページに記載してございます。しかし、同内容だと思うのですけれども、議案説明資料23ページでは152万6,000円になっている理由は何でしょう。

市営住宅課長 中教院団地におきましては、公営住宅と特定公共賃貸住宅がございまして、公営住宅のほうはシルバーハウジングとして、51戸中20戸が入っております。それで特定公共賃貸住宅のほうは51戸中31戸が入っております、一般会計では公営住宅のほうで支払いまして、公共賃貸住宅のほうは特別会計で支払うというふうに案分して支払っている形になります。全体で修繕料として251万1,000円なものですから、それを案分したという形になります。

委員長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、これをもって、議案の質

疑を終結いたします。

これより、議案第118号中建設部所管分、議案第126号、議案第135号、議案第136号、議案第139号から議案第141号まで、以上7件を、一括して討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

討論なしと認めます。

これより、議案第118号中建設部所管分、議案第126号、議案第135号、議案第136号、議案第139号から議案第141号まで、以上7件を一括して採決いたします。各案件は、原案のとおり決することに、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって各案件は、原案可決・同意・異議なしとの意見とすることに決定されました。

以上で、建設部所管分の議案の審査を終了いたします。

次に、

平成29年度道路除雪計画について、

市営住宅の明渡し等の「訴えの提起の結果」  
について、  
以上2件を一括して、順次、当局から報告を  
求めます。

道路河川管理課長 〔平成29年度道路除雪計画について、  
委員会資料により説明〕

市営住宅課長 〔市営住宅の明渡し等の「訴えの提起の結  
果」について、  
委員会資料により説明〕

委員長 ただいまの説明について、何か質問はありませ  
んか。

村家委員 二、三日前から雪が降りましたよね。もう除  
雪車は出たのですねー私たちはまちの真ん中  
にいるものだから。ちょうどまさに、四、五  
年くらい前だったかな、そのときは12月1  
5日から保険を掛けているということで、そ  
の前に保険を掛けていなかった年があったの  
ですね。それでちょうど12月13日から1  
4日にどんときたのですよ。まさにきょうは  
15日だけれども、ちょうど境目のときに。  
ことしはそういう保険関係の対応はしっかり  
できたのですよね。だから除雪車が出ている

のですよね。ちょっと確認です。

道路河川管理課長 保険の対応ということにつきましては、5年ほど前だったか、きちんとわからないところはあるのですが、除雪の業務委託の期間をちょっと早めておりました、本庁で12月1日から委託契約をしておりますし、土木事務所でも11月15日から契約しております。保険ということになれば、私どものほうで借りている機械を業者さんにお貸ししているというケースがあるのですが、それも機械は本庁のほうで12月5日から、土木事務所のほうもそれぞれ12月5日には全てリースの契約が始まっております。

村家委員 自社で持っているそういう機械であれば自社で当然保険を掛けているけれども、市から貸し出ししている機械で、あの当時はちょうど12月13日からどんときたのですね。それこそ除雪車がいろいろと動けないということで、何でかと聞いたら保険に入っていないから、15日からということで、大変なことがあったので。ことしはしっかり対応しておられますね。

それともう1点。除雪業者さん、土建業者さんとか結構いろんな業者がおられますけれど

も、業者が減っている中で、この地域除雪を今、皆さんにお願いしておられますけれども—こういうのをやっていただけるのは土建業者さんとか、そういうところで—その数ですよ。しっかり対応できるのか、できないのか。それをちょっとお伺いしたいと思います。

道路河川管理課長 除雪業者の数につきましては、社数だけであれば、昨年と同数確保できております。やはり土建業者さんで運転手の方、オペレーターの方が高齢になられたりして、どうしてもできないとおっしゃられたところもあるのですけれども、それにかわりまして造園業者さんですとか、一般の飲食店を経営していらっしゃる方などでお手伝いしてくださる方もいらっしゃいます。数としては決して多いとは言えませんけれども、なんとか除雪対応できる数が確保できております。

村家委員 町内とか、いろいろと高齢者の方も含めて講習を受けてきて、市が貸出しをしている除雪車で、しっかり地域なり町内を除雪しておいでの方もやっぱり結構増えていきますので、業者さんが減っても、オペレーターが減っても、なんとか対応できるのかなという思いはあるのですけれども、業者さんが減っていく中で、

なかなか大変だろうなということで聞きましたので、またよろしくをお願いします。

松井委員 そのことに関連して、今、市民との協働による除雪を推進していますけれども、今言われたリースによる地域への除雪機械の貸出しと、オペレーターについては当然講習を受けて従事するという流れになりますけれども、オペレーター数はどれくらい一般の市民の方々の人数がどれくらいいるのかわかりますか。

道路河川管理課長 申しわけありませんが、貸出しをする台数はわかるのですが、それに登録されていらっしゃる方もいらっしゃると思いますが、ちょっとこの場でその人数は把握しておりません。

松井委員 要は当然オペレーターの方にも保険が掛けられている。登録された方しか当然運行できないとか、操作できないという形になっていると思いますけれども、定年になって、時間があるからといって、なかなかすぐにはできるということでもないですし、その辺の市民との協働の除雪については、これで何年目になるのですかね。その辺の課題とか取り組みとかあれば。

道路河川管理課長 おっしゃるとおり、オペレーターの方一途中でお話のありました保険等につきましては、免許者に提出していただきまして、小型、大型の除雪機械については登録された方の保険が掛かります。ハンドガイドについては、乗る機械ではないものですから、作業者的方の保険が直接掛かっていることはありません。皆さんに協力をいただきながら、やっているということをごさいますして、そのオペレーターの方の確保ですとか、高齢化が非常に進んでいるというところあたりは課題であるとは考えておりますが、逆に皆さんの意識も高まっておりまして、非常にお手伝いをしていただける方、心のある方がすごく増えていらっしゃるというところが、こちらとしては心強いところかなというふうに考えているところであります。

松井委員 いずれにしても事故のないように、市民の協力を得ながら迅速な除雪をお願いします。

五本委員 委員会資料に小型除雪機械と書いてありますよね。これは普通免許で運転できる除雪機械のことですかね。

道路河川管理課長 小型除雪機械のほうは大型免許ではなくても

大丈夫なはずです。

五本委員 普通免許でも運転できる、うちの会社でもある車両だと思うのですけれども、これを市からレンタル、リースをされて、除雪の仕事をしているという方もおられると思うのだけれども、こういう方は何社おられるのか把握しておられますか。

道路河川管理課長 すみません、ちょっと今……

五本委員 また、あとで聞かせてください。結構そういう方はおられると思うのですが、いろいろなトラブルが発生しやすいのはそこら辺からですので、十分注意してやっていただきたいと思います。あとは何台ほどおられるのか聞かせてもらえればいいです。

委員長 ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。次に、建設部所管分で、議案及びただいまの報告以外に、何か、質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、建設部所管分を終了いたします。  
建設部の皆さんに1つお願いがあります。建設委員会  
で、来年の2月中に現地視察を行いたいと思っています。  
これについては、委員のほうからライチョウ舎を見たい  
ということでありましたので一予算をつけていますよね。

公園緑地課長 年度末の完成を見込んでおりますので……

委員長 年度末の完成予定ですが、途中でちょっと見  
たいので。私ども現在の建設委員は全部完成  
してから見るとなると見れないので、建設途  
中でもいいですから、概略の説明を建設委員  
会として視察したいということを考えており  
ます。それ以外にどれか見てほしいところと  
か、どこかありますか。

建設部長 今ほど公園緑地課長が申しましたようにライ  
チョウ舎は完成には至ってございませんが、  
途中の状況でございましたらごらんいただけ  
るかと思っていますので、ぜひお越しいただ  
ければと。

委員長

今の建設委員が予算を通した中で、やっぱり大きな予算をかけているところは完成状況を見たいということでもありますので。完成してから見に行くというのでは、年度が変わってからになって、また委員が変わりますので、今、現段階ではそういった形で。上下水道局の松川雨水貯留施設の稼働状況を確認したい、説明を受けようと思っているので、2月のどこかで御案内いたします。それでまた協議させてください。

これで、12月定例会の当委員会に付託されました、全議案の審査は終了いたしました。委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、平成29年12月定例会の建設委員会を閉会いたします。

平成29年12月定例会  
建設委員会記録署名

委員長 横野 昭

署名委員 岡部 享

署名委員 五本 幸正